

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科		管理栄養学科		
科目名称	給食経営管理論実習Ⅱ						授業形態		実習	
科目コード	304200	単位数	1単位	配当学年	3	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	棚町 様子								ICT活 用	○
授業概要	給食経営管理論Ⅰ・Ⅱで学習した、栄養・食事管理、施設・設備管理、生産（調理）管理、品質管理、衛生管理、経営管理等について、実習にて理解を深めていく。【知識・理解の深化】 給食経営管理実習Ⅰでは栄養・食事管理業務についての学習が主であったが、本実習では給食経営管理業務に重点をおき、運営上の技術の習得、効率的な運営方法について学習する。【問題解決力の育成】 また、本実習履修後は校外実習を履修する。校外実習につながるような指導を行う。 病院での給食経営管理業務、栄養管理業務の経験を活かし、業務の実態に即した指導を実習を通じて行う。									
関連する科目	「給食経営管理論Ⅰ」「給食経営管理論Ⅱ」「給食経営管理実習Ⅰ」を事前に履修しておくことが望ましい。 「総合演習Ⅰ・Ⅱ」を同時期に履修することが望ましい。									
授業の進め方 と方法	実習班ごとに授業を展開する。実習班を食事・栄養管理業務を主とするメンバーと給食経営管理業務を主とするメンバーにわかれ、給食実習を業務ごとに行う。 個人での役割に対し、責任をもって実習に取り組めるよう支援する。 本実習後に控えている校外実習につながる、知識と実践力を身につけさせる。 個人の課題提出及びフィードバックは、ユニバのクラスプロフィール上で行う。									
授業計画 【第1回】	オリエンテーション 実習の概要、実習15回を行うにあたっての実習計画の確認、献立作成についての説明を行う。									
授業計画 【第2回】	給食経営管理実習①、実習室の清掃 原価の計算方法の算出方法を学ぶ。									
授業計画 【第3回】	献立計画の作成① 新調理システムやスチームコンベクションオープンを使った料理について学び、献立を作成する。									
授業計画 【第4回】	献立計画の作成② クックフリーズ食品を使った料理について学び、献立を作成する。									
授業計画 【第5回】	予定献立の試作① 第3回で作成した献立をもとに試作を行い、試作後に改善レポートを作成し、給食実習（大量調理）の準備を行う。									
授業計画 【第6回】	予定献立の試作② 第4回で作成した献立をもとに試作を行い、試作後に改善レポートを作成し、給食実習（大量調理）の準備をする。									
授業計画 【第7回】	調理作業計画の作成及び発注準備① 新調理システムやスチームコンベクションオープンを使用した料理の作業計画と発注書の作成を行う。									
授業計画 【第8回】	調理作業計画の作成及び発注準備② クックフリーズ食品を使用した料理の作業計画と発注書の作成を行う。									
授業計画 【第9回】	発注及び給食実習事前打ち合わせ① 新調理システムやスチームコンベクションオープン使用した料理を100食調理し、提供方法について学ぶ。									
授業計画 【第10回】	発注及び給食実習事前打ち合わせ② クックフリーズ食品を使用した料理を調理し、提供方法について学ぶ。									

授業計画 【第11回】	給食実習① 新調理システムやスチームコンベクションオーブンを使用した料理を100食調理し、提供方法について学ぶ。
授業計画 【第12回】	給食実習② クックフリーズ食品を使用した料理を調理し、提供方法について学ぶ。
授業計画 【第13回】	反省及び報告書作成① 新調理システムやスチームコンベクションオーブンを使用した料理を提供した給食実習について、提供方法等や喫食者のアンケートから報告書を作成し、給食実習（大量調理）の評価を行う。
授業計画 【第14回】	反省及び報告書作成② クックフリーズ食品を使用した料理を提供した給食実習について、提供方法等や喫食者のアンケートから報告書を作成し、給食実習（大量調理）の評価を行う。
授業計画 【第15回】	まとめ、実習室の清掃 全班的献立をもとに、栄養出納表を完成させる。栄養出納表から給食実習について振り返りを行い、レポートを作成する。
授業の到達目標	給食経営管理業務に必要な技術の習得を行う。また、給食経営管理業務の方法について理解を深める。「大量調理施設衛生管理マニュアル」を遵守した実習を行い、校外実習（給食の運営）時に実践できるようにする。【知識・理解の深化】【問題解決力の育成】 他者と協働しつつ、実習に率先して取り組むことができる。また、必要な衛生管理やマネジメント管理を自ら実践できるようになる。 【自己管理能力の育成】【チームワーク・リーダーシップの育成】
学位授与の方針 （DP）との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)
授業時間外学習【予習】	大量調理施設衛生管理マニュアルについての復習。（30分程度） 給与栄養量の範囲で献立が作成できるよう、献立や料理について事前に資料を準備する。（1時間程度） 実習での作成物・帳票類の提出など準備をする。（30分程度）
授業時間外学習【復習】	栄養管理ソフトの使用方法を実習後に復習し、実際に活用できるようにする。（1時間程度） 給与栄養目標量の設定方法から報告書作成（1回～14回）までの課程を復習する。（30分程度） 実習での作成物・帳票類の提出物の確認をする。（30分程度）
課題に対する フィードバック	実習で作成した献立やレポート、課題等の提出物にコメントし、フィードバックする。
評価方法・基準	実習の取り組みや提出物（70点） 考案した食事内容（30点）
テキスト	給食経営管理論実習Ⅱ実習書（配布テキスト）・配布資料 『カレント 三訂給食経営管理論』松井元子・富田圭子編著〔建帛社〕（※2025年度に購入した教科書を継続して使用します） 『調理のためのベーシックデータ 第6版』〔女子栄養大学出版部〕 食品成分表
参考書	必要に応じて図書、資料を紹介する。
備考	持参物や事前の検査（腸内細菌検査）等については必要に応じて連絡する。 腸内細菌検査で陽性となった場合は、衛生管理および食中毒事故予防のため、大量調理実習への参加は認められない。その際は教員の指示に従うこと。 大量調理に向けた事前準備や帳票類の修正等がある場合は、必要に応じて連絡する。